

メディア関係者向けプロジェクト発表会

～7月23日オリンピック前夜に、
全国47都道府県でサスティナブルな【竹あかり】を～

◆プロジェクト発表会タイムスケジュール◆

日時：2月22日(土) 12:30～17:00 ※12:00開場
会場：HYPERMIX 門前仲町（東京都江東区門前仲町1-13-12）

- ・ **12:30～13:00** **メディア関係者向けプロジェクト発表会**
- ・ 13:00～15:30 パネルディスカッション・ワークショップ
- ・ 15:30～17:00 懇親会

参加者：プロジェクト関係者、47都道府県リーダー、支援者

◆登壇者◆



池田親生 (Chikao Ikeda) 竹あかり演出家 ちかけん創設者

1982年生まれ、福岡県出身。九州の崇城大学で出会った「ちか」（池田親生）と「けん」（三城賢士）と共に師事した内丸恵一先生の提唱する「まつり型まちづくり」をベースに、竹に穴を開けてあかり（ろうそくやLED）を灯す。熊本を拠点に全国各地で「竹あかり」を灯し、その土地にしかない「風景」と「物語」「人と人、人とまち、人と自然」をつなぐ「竹あかり」が新たな日本の文化として受け継がれることを目指している



脇 雅昭 (Masaki Waki) 神奈川県政策局未来創生担当部長 兼 政策局知事室政策調整担当部長

1982年生まれ、宮崎県出身。2008年に総務省に入省。2013年から神奈川県庁に転出。人の持つモチベーションの力を信じ、「公務員の志や能力が1%上がれば世の中もっと良くなる」という思いのもと「よんなな会」を主宰。全国5000人を超える国家公務員と47都道府県の地方自治体職員が繋がる場を作っている。「今何ができるか」「どう仲間を作るか」が常に持つ問い。



澤田 智洋 (Tomohiro Sawada) 世界ゆるスポーツ協会代表理事/コピーライター

1981年生まれ。2004年広告代理店入社。2015年に誰もが楽しめる新しいスポーツを開発する「世界ゆるスポーツ」協会を設立。これまで80以上の新しいスポーツを開発し、10万人以上が体験。海外からも注目を集めている。その他、視覚障がい者アテンドロボット「NIN_NIN」など、福祉領域におけるビジネスを多数プロデュースしている。

◆参加申し込み・お問い合わせ◆

申し込みフォーム：<https://forms.gle/X8A9o9g2Jfg31X6q9>

お問い合わせ先：みんなの想火事務局
MAIL：info@47akari.jp



◆追加資料

【CHIKAKEN (ちかけん)】

“竹あかりを新たな日本の文化に。”

崇城大学にて出会った、「ちか」と「けん」を中心としたユニット。共に師事した内丸恵一先生の提唱する「まつり型まちづくり」をベースに、竹に穴を開けてあかり(ろうそくやLED)を灯す「竹あかり」の演出制作・プロデュース会社「CHIKAKEN ちかけん」を、2007年4月に設立。現在6名で活動。熊本を拠点に全国各地で「竹あかり」を灯し、その土地にしかない“風景”と“物語”を創りつづけている。

「人と人・人とまち・人と自然」を繋ぐ「竹あかり」が一過性の「事業」として消費されるのではなく、新たな日本の「文化」として受け継がれることを目指している。

最近の演出として、東京・明治記念館(2014)、天王洲アイルのイルミネーション(2015)、米国J-POP SUMMIT2016など多数。また、地域と協働で創り上げるまつりも多く手がけている。2016年3月には被災地の一つである宮城県・山元町において慰霊祭に協力。全国の有志が制作した600個の「竹あかり」と共に被災地を灯した。2016年5月開催の伊勢志摩サミットでは、配偶者プログラムの夕食会場の演出も手がける。日本テレビ「未来シアター」にも取り上げられるなどメディア出演も多く、注目を集めている。熊本地震後、一般社団法人チーム熊本、一般社団法人BRIDGE KUMAMOTOを設立。被災した市民や県外支援者とともに、復興支援活動を行っている。

- ◎熊本暮らし人まつり みずあかり デザイン・制作指導 (熊本・2007年～) (第16回ふるさとイベント大賞受賞)
- ◎明治天皇百年祭 (東京・明治神宮・2012年) (第32回経済産業省ディスプレイ産業優秀賞受賞)
- ◎黒川温泉 湯あかり プロデュース (熊本・2013年～)
- ◎ANA×みずあかり「そらあかり」プロデュース (熊本・2013年,2014年)
- ◎わーと日本橋 (東京・日本橋三井ホール・2015年)
- ◎東北を灯そうプロジェクト (宮城県山元町など・2016年)
- ◎伊勢志摩サミット・配偶者プログラム夕食会場 (三重県志摩市・2016年)
- ◎J-POP SUMMIT2016 (米国サンフランシスコ・2016年)
- ◎第25代専如門主伝灯奉告法要協賛行事・西本願寺花灯明 (京都・2017年) 他

【竹の無限の可能性】

日本の暮らしを支え続けてきた竹に、あかりとデザインを掛け合わせて生まれた幻想的アート「竹あかり」。「人と人・人とまち・人と自然」を繋ぐ竹あかりは、新たな日本文化を生み出します。

“竹あかりは、「持続可能な社会づくり」というメッセージを持った芸術作品でもあるのです。”

※引用：高橋歩・EXILE USA著者『ネオジパング』(A-Works,2019)

“竹そのものは勢いよく成長しますが、竹かんの中は空洞です。竹は実に神秘的な植物です。「京都市洛西竹林公園」の管理指導や熊本県水俣市にあるエコパーク皆的の「竹林園」の設計などに携わり、竹の生態や歴史に詳しい渡邊雅俊農学博士は、「古代の人々は空洞をもつ不思議な形の竹に、一種の自然宗教的な信仰心を抱いたと思われる」と語っていました。そうした神秘性が『竹取物語』を生み、竹を使った祭事や神事を今日まで伝承させたのではないのでしょうか。”

※引用：農林水産省HP『特集1 竹のおはなし (2)』



【日本橋/東京 (2015)】

【伊賀市上野城 (2019)】

【SKYZ TOWER
&GARDEN/東京 (2015)】